

平成28年度 学校法人 三幸学園 名古屋ビューティーアート専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 和田 忍

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 小栗 慎司

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、美容分野の学校として「人を美しくすることで人を元気にし、日本を世界を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、美容分野として「お客様を美しくすることで感謝される、サロン・組織を活性化できる(皆をハッピーにする)人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

平成28年度でも、次の5点を継続項目として取り組んだ。

1. 主体性を育む教育
2. 退学率の低減
3. 検定合格率の向上
4. 掃除、挨拶の徹底
5. アクティブラーニングの工夫、確立

結果として掃除・挨拶はできていない場合は、早急に対策をたて、継続して徹底できるように工夫してきて、生徒の主体性を育む教育も強化してきたが、退学率の低減は目標に達することができなかった。

② 学校関係者評価委員会コメント

継続して取り組まれている様子が伺える。すぐに結果が出る・出せることではないため、継続して取り組んで頂きたい。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

学校の理念や目的などは入学前保護者説明会などで話をして伝えているが、不参加の場合は直接伝える機会が設けられず使用冊子の郵送で終わっている場合がある。また、継続的に書面にて伝え続けてはきたが、浸透度が不明である。

② 今後の改善方策

学校としては生徒へしっかりと理解をさせて指導する様に教員全員で意識して取り組んでいる。また、保護者会参加促進の強化及び定期的な学校情報の共有を実施すると共に、保護者への連絡を入れる際に理念や人物育成ビジョンを伝え理解に努めていく。

③ 特記事項

学園のミッション「人を活かし、困難を希望に変える」と、ビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」を掲げている。ポスターなどを利用し学生にも公開して、学園の目指す方向性を具体的に示している。

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし。継続して浸透に努めて頂きたいと感じる。

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

グループウェアなど三幸学園全体としてシステム化に取り組んでいるが、各教員まで内容が浸透しきれていない。

② 今後の改善方策

教員の浸透に向け、システムの勉強会等を実施する。

③ 特記事項

WEB上の教務掲示板(スタディサプリ)の設置など、情報システムの導入はしている。

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし。

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員的能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

クラス運営や教育技術などの能力向上の取り組みは、各個人に任せられている部分が多く、学校全体としての取り組みが個人能力で差がついている。

② 今後の改善方策

クラス運営力を向上させるための担任指導者を設置する。また授業の進め方アンケートの改善や担任アンケートの設置などを行い、シラバスの変更により教育の質の担保を学園全体として教務力の向上及び個人差の幅を狭くすることに努めていく。また、教員の教務力UPのため、定期的に研修を実施していく。

③ 特記事項

三幸学園独自の教育手法であるアクティブラーニングを導入し、能動的学習を積極的に行っている。また、産学連携や地域貢献への取り組みを行っている。

④ 学校関係者評価委員会コメント

評価や結果が出ている先生の取り組みは共有し、教員間・学校全体のレベルアップに繋げていただくよう取り組んで頂きたい。

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

退学率の低減については昨年に比べ改善されている。今後は卒業後勤務継続状況など連絡が取れない等不明なこともあることから調査方法の改善が必要である。また、卒業後の就職に関しては、気持ちの面で3年続かない卒業生が多くなってきている。

② 今後の改善方策

担任指導者を設置しクラス運営力の向上を図ると共に、継続的な目標設定を促す。また、クラス会も必要時には随時実施して何か些細な問題でもあれば、早期解決できるように取り組んでいく。新入生向け入学前のオリエンテーションや保護者会などを行い、学校の教育方針の理解・浸透を図っている。また、卒業後のことを考えての心の教育については、就職指導の授業だけでなく、未来デザインプログラムなどの授業や行事を通して、心身共に成長できるよう強化していく。

③ 特記事項

学生の就職後も企業訪問を積極的に行い、卒業後の様子も把握している。

④ 学校関係者評価委員会コメント

ガイダンス時に生徒の姿勢や大きな声での挨拶は大変素晴らしい。就職してからも良い所はそのまま行っている為、継続(指導)して頂きたい。なお、就職後に年配の方との言葉遣いで躓く傾向にある。若者言葉がそのまま使われている様子が年配のお客様にご指摘もいただくこともある為、その部分も一層強化いただくとさらに良い人材となると感じる。

(5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	4
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

① 課題

保護者との連携は今後も強化していきたいものの1つ。入学前保護者会への参加率を向上させ、入学前に本校の教育方針を理解して頂き、保護者と連携して学生のサポートをしていきたい。なお、卒業生支援制度に関しては周知がまだ薄い。

② 今後の改善方策

保護者会への参加促進の強化及び定期的な学校情報共有の実施をしているが直接対話する機会を設ける。卒業生支援制度の卒業生への積極的なアプローチを実施、また在籍時より卒業生サイトがあることの告知、有効活用方法の告知を強化していく。

③ 特記事項

特になし。

④ 学校関係者評価委員会コメント

業界(就職先)の楽しさや厳しさを含め、あまり理解されず入社している方もおり、就職してからのギャップに保護者様からお話(クレーム)を頂くことも実際にある。少なからずギャップはあると思うが、連携を強化することによって生徒や保護者に理解を深めて頂くよう努めていただくと良いと助言を頂いた。

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3

① 課題

特に大きな課題はない。

② 今後の改善方策

即戦力として育てて行く観点で、施設・環境・備品の設定を行っていく。

③ 特記事項

企業と連携をし、現場が求めている人物像をキャッチし、インターンシップ前の指導及び終了後の指導・アドバイスなど事後指導の実施をして、卒業後に現場で活躍できる人材育成を実施する。

日本の美容業界に欠かせない着付けの授業についても企業連携し授業委託を実施する。

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし。

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

特に大きな課題はない。学生の立場に立って、学費などは出来る限り安くできるよう努力している。

② 今後の改善方策

AO入試や特待生入試等の入試方法について誤解を招かぬよう、説明・対応に努めて行く。

③ 特記事項

美容師通信課程併修者の学費減免を実施。（平成28年度生より）

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし。

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

中長期事業計画は2012年に策定したが、当該計画は前倒しで終了しているため、今年度に更なる中長期計画を策定する必要性がある。

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

ホームページ上の公開については抜粋版が公開となっているが、今後は事業報告などの詳細な情報の公開が必要。

② 今後の改善方策

【中期計画】

今年度に新中期計画を策定する予定である。

【財務情報の公開】

今年度よりホームページ上の法人の事業報告書を公開する予定である。なお、当該報告書には財務情報にかかる詳細データを掲載する事となっている。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし。

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

更なる法令遵守の推進。

② 今後の改善方策

会議や掲示物等で、職員の法令遵守に対する啓蒙を継続的に図る。

③ 特記事項

特になし。

④ 学校関係者評価委員会コメント

各企業も個人情報の取り扱いや管理については力を入れて取り組んでいる。学校においても多くの個人情報を取り扱うため、現状しっかりできていたとしても薄れていく可能性もあるため、教員一人一人が意識をより高めていく必要はあるとご助言を頂いた。

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

① 課題

特に大きな課題はない。

② 今後の改善方策

特になし。

③ 特記事項

特になし。

④ 学校関係者評価委員会コメント

企業様もボランティア活動をされているところも多くなってきていると感じる。機会があれば積極的に実施されると良いとご助言を頂く。

(11)国際交流(必要に応じて)

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	3
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	2
学内で適切な体制が整備されているか	3

① 課題

留学生を受け入れる体制は整えているが、現状では入学希望者はほぼいない。

② 今後の改善方策

留学生向け進路相談会など、参加していくことも検討したい。

③ 特記事項

留学生向け外国語の募集要項を作成している。また、留学生申請取次者も常駐し、留学生支援制度(選考あり)も実施している。

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今年度はより退学率の一層の低減を図っていきたい。そのためには、毎月の精皆勤率にも意識をして、クラス状況の把握を全教員で取り組んでいく。また教員の教務力向上やクラス運営力の向上についてのより積極的な取り組みが必要不可欠である。さらに接客業の基本である挨拶や清掃活動などより徹底していくことも心がけ、就職後のイメージのギャップなどですぐに退職をしないよう、しっかりと心の教育も強化していく。

自己評価の結果は概ね問題ないが、細部をしっかりと点検し、地域や業界から必要とされる学校になるために課題をしっかりと把握し学校を運営していく必要がある。

平成29年度でも引き続き、次の5点を重点的に取り組むこととする。

1. 主体性を育む教育(心の教育強化)
2. 退学率の低減
3. 検定合格率の向上
4. 掃除、挨拶の徹底
5. アクティブラーニングの工夫、確立